

**地方分権 = 地方政府樹立のための、“自律”の必要性**

政策アドバイザーとして指導いただいている法政大学の白鳥浩教授と 8 月に続いて意見交換。まずは、フラッシュスピーチ。事業仕分けの話から始まった。この方法は、一つの方法だが、公衆の面前で行うなど、公開性もあり、初めて、税金の使われ方、分配の仕方などが明らかになり、民主党の好感度が上がったと思う。これからより具体的になっていくだろうマニフェストの実行度。首相の献金問題もあるが、民主政権はこのまましばらく続くと予想できる。来夏の参議院選挙も民主の勢いは止まらないだろう。3 党連立は、そう長くは続かないと予測。内閣というよりも党本部の機能強化と脱官僚、政治家主導が進む。(一極集中を懸念しないでもないが)まだ見守る時期だ。陳情を受け付けるシステム作りなど新しい方法が提示されているが、しっかりとした地方分権(財源移譲が伴った)が進むように注視し続けることが大事だ。又、地方議会の“自律”が期待されている。自分たちの

事は自分たちで考え行動する必要がある。国と地方が捻じれているが、県政も変わったことだし、自ずと、我々がどう動いていけるかしっかりと考えなければならない時期だ。新政会は“自律した集団” 地方政府樹立に向け、これからも進化し続けます。(文責 佐藤成子)